

※ 今週のアウトルック (3/9~3/13)

先週は、米国雇用統計の予想外の好結果を受けて、ドル高が週末に大きく進みました。市場ではこの結果から、6月利上げの可能性がかなり高まったようです。

一方、ユーロをはじめとしたクロス円は下落の一途をたどっています。

今週は、とりあえずドルの独歩高がどこまで進むのか、見極めところを探す週となるように思います。

先週ドル円は、米国雇用統計の予想外の好結果を受けて、一時121円台まで上昇しました。ユーロドルも1.09を割り込み、ドル独歩高の様相が強くなっています。

今週は、ドル高がどこまで進むのか見極めたいところですが、年度末の東京市場での実需の売りなどにどの程度影響されるかも気になるところです。

また、NYダウなどは6月利上げの可能性が高まったことを受けて、下落しています。この辺りがリスクオンムードにどの程度影響を与えるかも、気になります。

ドル円の予想レンジは120円から123円です。

先週、ユーロドルは米国雇用統計の好結果を受けてドル独歩高が加速し、1.08台に突入しています。

1.075を割ってしまうと、しばらくサポートライン的なものが見当たらないため、バリエティ付近までの下落は避けられないかもしれません。

ユーロ円も130円を割り込んでしまうと、次のターゲットは120円付近となる可能性が高まりそうです。

ユーロ円の予想レンジは126円から134円です。

ポンドは、ドル独歩高の勢いが強すぎ、上昇トレンドに乗りきれないようです。このまま181.5円付近のサポートを割ってしまうと、再び下落トレンドに逆戻りしてしまう可能性が高くなりそうです。

ポンド円の予想レンジは180円から184円です。

今週は、ドル独歩高の進み具合を見極めたいところですが、そろそろ東京市場での年度末要因も本格化してきそうなので、その状況にも注意を払いたいところです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。